

まつもと版

里親だより

Vol.10

すべてのことが、安全で安心できる家庭で育つことが大切です。



QPI（クオリティ・ペアレンティング・イニシアチブ）ってなあに？！

QPIとは、米国発祥の取り組みで、里親、児童相談所、支援機関が連携し、子どもと実家庭をサポートして恒久的な家庭環境の実現を目指します。すべての子どもが健やかに成長できるよう、よい良い家庭環境とパーマネンシー（永続的な養育環境の保障）の実現を目指し取り組みます。

里親制度の目的は、社会的養護が必要になった子どもを家庭に迎え入れ、子どもが安心を感じ、ウェルビーイング（幸福感や満足感）が保障されることです。のために、里親は発達やアタッチメント、トラウマ、子どもの権利を学び、必要に応じて支援を受けながら、関係者と対等なパートナーシップを築くことを大切に社会的に子育てします。QPIは特別なプログラムではなく、里親のあり方や役割を示す考え方です。



QPIが生み出す変化

- こどもや実親のニーズに寄り添い、あたたかく優しく接する里親が増えています。そのような里親の元でこどもや若者が育ち、実親は支援を受けることで、こども・若者、そして実親の幸せへと繋がっていきます。

1. 地位向上
里親による養育が社会的に価値あるものとして認識されることにより、里親もチームの一員としてその意見が尊重される関係性が築かれます。

2. パートナーシップ
実親や里親は、児童相談所の職員や他の関係者とチームを組み、子どものニーズに応じた養育について共通の認識を持ち社会的にもパートナーシップの関係を築きます。

3. 学びと実親支援
里親は、こどもや実親と協力しながら、自ら期待されている役割を理解し、必要な支援やトレーニングを受けることができます。

4. ピアサポート
里親同士で良い関係を作り上げ、良い気持ちも大変な気持ちも分かち合いで、里親を続けていけるようになります。

QPI-Japan シンポジウムのご案内

里親-パートナーシップの中でこどもを支える大切な役割

米国発祥 QPI の理念を日本に広めるため、考案者キャロル・シャウファー氏 (Youth Law Center) を招き、新しい里親の役割を議論します。

お申込み

日時 10/14 (火) 13:30~17:00 (13:00 開場)

会場 日本財団ビル 2F 大会議室 (東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル)

定員 100 名 参加料無料



主催 日本財団 共催 社会福祉法人麦の子会

協力 NPO 法人家庭養育支援機構

10月9日締切

お問い合わせ mail : qpi@muginoko.com

後日アーカイブ配信有

tel : 011-776-6856

(要申込)

<https://nf-kodomokatei.jp/news/250911.html>

プログラム内容

■ 基調講演

「QPIについて」

キャロル・シャウファー氏 (Youth Law Center)

■ 教育講演

「アタッチメントの大切さ」 増沢高氏(子どもの虹情報研修センター)

シンポジウム

発表1 : 「児童相談所と里親のパートナーシップについて」

発表1では長野県
養育支援室の職員
が登壇します

発表2 : 「これからの里親-パートナー・ファミリー」



ひとこと

・『2025世界陸上』が、1991年以来34年ぶりに、東京国立競技場で開催されました！
世界の頂点で戦った選手の皆さんのはるかは、感動を呼びました！”まさに1秒後”に目の前で人類が進化する瞬間に立ち会える感動、ワクワク、ドキドキの瞬間、大歓声の渦中、今回観戦することができました！！ 村竹ラシッド選手の110mハードル準決勝・悔し涙と再挑戦を誓った決勝の様子、中島ジョセフ選手の男子400m準決勝、悲願の世界陸上決勝進出の瞬間を、目の当たりにしました！ 競技を終え、国を超えてお互いを讃え合う姿のように、心豊かな暮らしや、世界平和を願うばかりです。

『里親制度説明会』の開催状況、『松本児童相談所ホームページ』など、里親制度に関するお知らせは、下記松本児童相談所ホームページでご覧いただけます。ご活用ください。

【URL】 <https://www.pref.nagano.lg.jp/matsujido/images/satooya20210705.html>

(松本児童相談所→里親制度の推進) 右記 QR コードもご利用ください。)



松本版里親だよりへのご意見、

松本児童相談所

ご要望等、お気軽にお寄せください。

住所：松本市波田 9986 TEL：0263-91-3370